

令和3年度 第2回柏原市総合教育会議議事録

日 時	令和4年3月23日(水) 午後3時から午後3時25分
場 所	大会議室 (本館4階)
出 席 者	(柏原市総合教育会議構成員) ○市長 富宅 正浩 (議長) ○教育委員会教育長 新子 寿一 ○教育委員会教育長職務代理者 山崎 裕行 ○教育委員会委員 田中 保和 ○教育委員会委員 近藤 温子 ○教育委員会委員 西村 弥生子
欠 席 者	○なし
傍 聴 者	○なし
関 係 者	○政策推進部総合政策監 小林 一裕 ○教育部長 福島 潔 ○教育部教育監 中平 好美 ○教育部教育総務課長 栗田 聖子 ○教育部教育総務課課長補佐 井上 敦 ○教育部次長兼指導課長 石田 智 ○教育部学務課長 井原 啓裕
事 務 局	○政策推進部次長兼企画調整課長 井上 昇 ○政策推進部企画調整課主任 藤井 智恵
会 議 次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1)第2期柏原市教育振興基本計画を大綱と位置付けることについて (2)コロナ禍における学校の現状について (3)その他 4 閉会

議 事

<p>(事務局)</p>	<p>【1 開会】</p> <p>皆様お揃いですので、令和3年度第2回柏原市総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>皆様には、ご多忙の折にもかかわらず、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めさせていただきます政策推進部企画調整課の井上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。以後、座って説明させていただきます。</p> <p>会議を始めさせていただく前に、本日の会議資料のご確認をお願いいたします。</p> <p>本日の次第と第2期柏原市教育振興基本計画、こちらが本日の資料になります。</p> <p>それでは会議を進めさせていただきます。</p> <p>本会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条第4項にて規定しております開催要件、「市長及び教育長等のうち1名以上の出席による」を満たしておりますので、本会議は成立しております。</p> <p>それでは、会議の開催にあたりまして、富宅市長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>【2 市長あいさつ】</p> <p>皆様、改めましてこんにちは。</p> <p>本日は、令和3年度第2回総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、平素は柏原市の教育の全般に関しまして、ご理解ご協力いただきまして本当にありがとうございます。</p> <p>さて、本日の議題の一つでもあります大綱につきましては、今後の本市における教育の方向性、これを定める大変重要なものでありまして、前回の改定から早くも5年が経過しております。子どもたちを取り巻く環境も変化しておりますので改定が必要であると考えております。</p> <p>この議論の中で、教育施策の方向性を共有させていただいて、次の時代を担う子どもたちのために、今後、様々な取組をぜひ一緒に進めて行きたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>【3 議事】</p> <p>それでは、次第3の「議事」に入らせていただきます。</p> <p>会議は、柏原市総合教育会議運営要綱第3条の規定によりまして、市長が議長となります。</p> <p>ここからの会議の進行をお願いしたいと思います。</p> <p>市長よろしく願いいたします。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>それでは、運営要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>まず、議事に入る前に、事務局より傍聴に関する説明をお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>現在、傍聴者は、0名です。</p> <p>傍聴席は10席を用意しておりますので、10名になるまで傍聴を認めていただけますでしょうか。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>傍聴を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>(教育委員から、「異議なし」の声があがる)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>それでは傍聴を許可します。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、それでは会議を進めさせていただきます。</p> <p>(新子教育長から発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、新子教育長。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>長引くコロナ禍、非常に厳しい市の財政状況にあって、学校給食の無償化にかかる予算を始め、多くの予算を割いていただいておりますこと、この場をお借りしまして感謝申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>今後とも柏原市として変わらぬご協力を賜りますようお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>学校給食費の無償化につきましては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用させていただきました。今後につきましても子育てを応援する環境づくりを着実に進めていきたいと思っておりますので、どうか皆様ご理解の程よろしくお願いいたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>(1) 第2期柏原市教育振興基本計画を大綱と位置付けることについて</p> <p>それでは、まず、議事の(1)「第2期柏原市教育振興基本計画を大綱と位置付けることについて」事務局より説明をお願いいたします。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>はい。それでは、大綱について説明させていただきます。</p> <p>平成27年4月に改定されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」におきまして、地方公共団体の長は教育に関する総合的な施策の大綱を定めることとされていますが、文部科学省の通知の留意事項におきまして、教育基本法第17条第2項に規定する教育振興計画を定めている場合で、市長が総合教育会議において教育委員会と協議・調整し、当該計画をもって大綱に代えることと判断した場合には、別途、大綱を策定する必要はないことと記載されています。</p> <p>このことから、本市におきましては、「柏原市教育振興基本計画」を大綱と位置付け、これまでの取組を進めてきております。</p> <p>そして今回、基本計画の第1期が令和3年度末で終了することから、教育委員会が第2期教育振興基本計画を新たに策定されており、大綱への位置付けについて、今回議題へあげさせていただきました。よろしくお願いたします。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>わかりました。</p> <p>では、教育委員会に第2期柏原市教育振興基本計画の内容について説明を求めます。</p>
<p>(新子教育長)</p>	<p>それでは、私から第2期となる「柏原市教育振興基本計画」についてご説明いたします。お手元に資料として配られております基本計画の2ページをご覧ください。</p> <p>平成26年4月にスタートしました第1期の基本計画は、基本構想を6年間とし、さらに令和2年度から3年度においては基本計画の再改定となる期間を設定して、施策に取り組んでまいりましたが、このたび、資料中央にお示ししておりますとおり、「第5次柏原市総合計画」との整合性を考慮し、また、今後も合わせて取り組んでいけるよう、基本構想を令和4年度から令和12年度までの9年間とする第2期の基本計画を策定いたしました。</p> <p>今後の社会の変化や教育に関わる法令の改正等のあることも見据え、前期計画4年、後期計画5年に関わらず、必要に応じて見直しを行ってまいりたいと考えております。</p> <p>それでは、21・22ページをご覧ください。</p> <p>「第2期柏原市教育振興基本計画」を策定するにあたりましては、「かしわらっ子はぐくみ憲章」に掲げる基本理念や、これまでから大切にしてきた柏原の教育の基本目標はそれぞれ継承しつつ、保護者のアンケート等も参考にし、これからの時代に本市の教育がめざす方向性を4つの柱、22ページの下段にもありますが、それらにまとめることといたしましたので、それぞれについてのポイントを絞ってご説</p>

明をさせていただきます。

1つめの柱は「未来を切り拓く「生きる力」の育成」でございます。25ページからになっております。

28ページの「確かな学力の育成」については、保護者アンケートでも期待の大きい施策であります。本市の学力向上計画である「かしわらっ子はぐくみプラン」として、今回の基本計画に盛り込むことといたしました。重点①に記載の「思考力・判断力・表現力」は、予測困難な時代を生きる子どもたちに大変重要な力となり、また本市の子どもたちの課題でもあります。「わかる授業」の工夫に取り組み、子どもたちの学力向上を図ってまいりたいと考えております。そして、わかる授業づくりに欠かすことのできない取組み、「ICTの活用」を重点②で取り上げております。教員のICT活用指導力の向上にも力を入れて取り組んでまいりたいと考えております。

同じく「豊かな心の育成」でございます。32ページをご覧ください。

保護者のアンケートでは、学力・学習意欲の向上に次いで、人権尊重や他人を思いやる心を育むことに対する学校への期待が高うございました。就学前児童の保護者についても、相手の気持ちを思いやることへの回答が多く見られました。

第2期の基本計画におきましても、いじめ問題にしっかり取り組んでいくことを盛り込み、人権教育、道徳教育の充実に加え、豊かな体験活動や読書活動などをとおして、豊かな心を育んでいく方向性をお示ししております。

次に、2つめの柱です。37ページをご覧ください。

「学びを支える支援体制の構築」についてです。このたび、大きな柱としてとりまとめました、38ページにとりあげております児童虐待やヤングケアラーの問題は、関係機関との連携が不可欠であり、学校にはスクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーなどの専門人材がますます必要となっております。加えて39ページからは、その他にも子どもたちの学びを支援するために必要な人材についてお示しし、学校の支援体制の充実を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、3つ目の柱は生涯教育に関する取組みとなっております。44ページをご覧ください。

「地域の特色を生かした、生涯にわたる学びの機会や環境」についてです。生涯教育には「人生100年」時代を見据えた学びの場の充実が求められており、スポーツ活動の充実や歴史・文化遺産の啓発を含めて、本市の重要な施策であります。

青少年の健全育成に加え、地域がふるさと柏原を愛する子どもたちを育てることができるよう、このたび一つの方針にまとめ、取組みを進めてまいります。

	<p>最後に、4つ目の柱は、「安心、安全で快適な教育環境」についてです。50ページをご覧ください。</p> <p>子どもたちの安全確保に関わること、施設の環境整備に関わること、学校給食に関わることの3部構成としております。</p> <p>52ページをご覧ください。施設の環境整備につきましては、学校のトイレの洋式化、体育館の空調整備などに順次取り組んでいくこととし、老朽化の進む社会教育施設の大規模改修や建て替えについても、検討していくことをお示ししております。</p> <p>以上、簡単ではございますが、「第2期柏原市教育振興基本計画」についてのご説明でございました。よろしくお願ひいたします。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。この計画は「かしわらっ子はぐくみ憲章」に掲げる基本理念や、基本目標はそのまま継承しつつ、第1期でも取り組んで来られたものを基盤として、子どもたちを取り巻く社会の変化に併せてさらに強化ができていくのかなと思っております。</p> <p>この第2期は、これからの時代を生き抜く子どもたちのそれぞれ持っている夢や目標を応援するには、とても意義深いものであると思っております。</p> <p>私としましては、第1期に基づき、これからの時代に沿うよう策定されましたこの「第2期柏原市教育振興基本計画」を法で規定されている大綱として位置付けたいと思っておりますが、ご意見はございますでしょうか。</p>
(新子教育長)	<p>この第2期柏原市教育振興基本計画は、教育委員会会議でも審議のうへで策定したものでございますので、法で規定されております「大綱」としていただける内容であると考えております。</p>
(富宅市長)	<p>ありがとうございます。それでは、第2期柏原市教育振興基本計画を大綱とすることといたします。</p> <p>また、先ほどのご説明にもありました、施設の老朽化についてですが、委員の皆様もご存知の通り、柏原市はコロナの影響もあり大変厳しい財政状況が続いております。その中でも施設の老朽化による、修繕費用がかさんでおります。</p> <p>学校施設につきましては、適正規模・適正配置基本計画の見直しを進めていただいているところでありますが、この3月議会の公共施設再編整備計画策定の予算審議の中でも、多くの市議会議員の方々から、学校施設の総量についても様々なご意見をいただいております。</p> <p>今後の人口推移や児童・生徒数に注視をしながら、子どもたちにとってより良い環境となるよう、多方面の視点から教育環境のあり方について、適宜進めていただきますようお願いいたします。</p>

<p>(富宅市長)</p>	<p>情報を共有しながら連携し取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。</p> <p>(2) コロナ禍における学校の現状について</p> <p>それでは議事の「(2) コロナ禍における学校の現状について」に移りたいと思います。</p> <p>前回12月末の総合教育会議が開催された時には小康状態でありましたが、年が明けてから新規陽性者が急増し、第6波へと突入しました。第6波であるオミクロン株では今まであまり見られなかった子どもへの感染も多く、学校運営にも大きく影響が見られたかと思ひます。</p> <p>現在はまん延防止等重点措置も解除され、状況は落ち着きつつありますが、この間の学校の状況についてはいかがでしょうか。</p>
<p>(山崎委員)</p>	<p>今年に入った令和4年1月からですが、今日までで休校が2校、学年閉鎖が8件、学級閉鎖が24件ございました。なお、今現在の休校、休級等はございません。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。状況等わかりました。休校などの期間、子どもたちに対する学習の保障は「GIGAスクール構想の実現」により進めていただひているタブレットPCの活用を実践していただひたと思ひのですが、実際どのように対応されたのか、お聞かせください。</p>
<p>(田中委員)</p>	<p>これまでも、臨時休業時に関わらず、「GIGAスクール構想の実現」により、一人一台のタブレットPCに併せて導入したオンライン学習ドリル教材を中心とした学習保障を行ってまいりました。そして今年の1月に入り、感染が急激に拡大し始めたことを受け、1月17日に各学校に対して改めて、オンライン学習ドリル教材が確実に家庭においても活用できるよう、使用方法の確認と、タブレットPC持ち帰りにあたる注意事項等を通知したところでございます。以上です。</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>ありがとうございます。他にございますでしょうか。</p> <p>(近藤委員より発言を求める声あり)</p>
<p>(富宅市長)</p>	<p>はい、近藤委員お願ひします。</p>
<p>(近藤委員)</p>	<p>2月3日には、校園長会において、オンライン学習ドリル教材に加えて、市で取り入れているオンライン会議システムを活用した家庭とのやりとりや授業配信の方法を周知し、各学校の実情に応じて、できることから積極的に始めていくようにしておひます。その結果、この</p>

	<p>たびの学年閉鎖や学級閉鎖などの臨時休業時につきましては、オンライン学習ドリル教材をはじめ、タブレットPCを活用した学習保障が行われ、加えてオンライン会議システムによる授業配信や、健康観察についても、一部の学校で行われております。</p>
(富宅市長)	<p>今の田中委員、近藤委員のお話を聞いていると、休校や休級以外の理由で通学できない児童生徒に対しても、着々と学びの保障が可能になる環境が整ってきているのかなと非常に心強く感じております。</p>
(西村委員)	<p>はい。市長がおっしゃいましたとおり、臨時休業以外で、感染や濃厚接触者特定による自宅待機時や、感染不安等により登校できない子どもたちに対しても同様に対応されております。学習保障につきましては、様々な方法がございますが、教育委員会といたしましては、「子どもたちの学習の定着を図る」ことを目標に、発達段階等にも考慮して、今後も、授業配信を含めたより効果的な方法を取り入れてまいりたいと考えております。</p>
(富宅市長)	<p>今後も見通しが立たない難しい状況が続くと思いますが、一方では日常を取り戻そうとする流れも出てきておりますので、この新型コロナウイルス感染症によって子どもたちの学び、これを止めないように引き続きよろしく願いいたします。</p>
(富宅市長)	<p>(3) その他</p> <p>議事の(3)「その他」についてですが、何か案件がございますでしょうか。</p> <p>(教育委員から、「なし」の声が上がる)</p>
(富宅市長)	<p>はい、特にないようでございます。最後に事務局より何かありますでしょうか。</p>
(事務局)	<p>【その他・会議日程について】</p> <p>令和3年度第2回総合教育会議につきましては、これで終了させていただきたいと思っております。</p> <p>次回につきましては、ご審議いただく案件が生じた段階におきまして、改めて開催の日程調整をさせていただき、お集まりいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
(富宅市長)	<p>特に、ご意見がなければ、今後、会議の開催が必要となった際に、事務局の方であらためて日程の調整をさせていただきますので、よろ</p>

	<p>しくお願いします。</p>
--	------------------

本日の議事は、以上をもって終了とし、閉会とさせていただきます。

3月の年度末のお忙しい中、皆様お集まりいただきまして本当にありがとうございます。今後も引き続きよろしく願いいたします。